

季報も 不注意物語から

—安全に笑って I—



働きかいらのある取場、災害のない明るい取場を築きあげることには企業にとつても個人にとつても究極の目的であり最大の課題であります。…このために私たちは取場から災害を取り除く努力をさらに一歩すすめるために全社を統一し新しい安全運動を展開することになりました。みんなで考えみんなで行動しようではありませんか。というオール鋼管パーフェクトセーフティ運動推進本部長の呼びかけに応じてみんなの中の8人である精神衛生室より季報もをおくります。

1. 不注意物語を読みかえす。
2. 大脳の情報処理モデル
3. いわゆる不注意の諸相
4. 災害事故の背景となる人間の問題
5. システム災害
6. 自己管理と自愛

日本鋼管病院精神衛生室